

## 第二種奨学金（海外）在学採用に関するQ&A

### 【令和8年7月1日版】

#### 【申込手続き】

（申込方法、申込期間について）

Q 1 入学前に申込みはできますか。

A 1 申込みができるのは、入学後（海外大学・大学院の正規課程の授業開始後）になります。進学前は書類を受け付けることができませんので、ご注意ください。ただし、申込書類の請求は入学前でも可能です。

➤ 貸与奨学金案内 大学 16 ページ・大学院 16 ページ

Q 2 在学採用はいつから申し込みができますか。申込期間がありますか。

A 2 申込期間は5月～12月、毎月10日を申込書類提出期限としており、12月10日が最終提出期限となります。

➤ 貸与奨学金案内 大学 25 ページ・大学院 25 ページ

Q 3 申込書類はインターネットで提出できますか。

A 3 できません。郵送のみ受け付けます。郵送の際は、簡易書留等、必ず配達記録の残る方法で郵送してください。

➤ 貸与奨学金案内 大学 45 ページ・大学院 44 ページ

（【様式 C】申込書について）

Q 4 申込書の貸与終期欄は卒業式が行われる月を記入するのですか。

A 4 学期の最終授業／最終試験月を記入してください。

例) 「2028年12月」が最終授業／最終試験月、「2029年2月」が卒業式の場合は、「2028年12月」が貸与終期となります。

➤ 貸与奨学金案内 大学 30 ページ・大学院 30 ページ

Q 5 在籍証明書に卒業予定年月の記載がないため、ビザ証明書に記載されている卒業予定年月を申込書の貸与終期欄に記入してよいですか。

A 5 在籍証明書に卒業予定年月の記載がない場合は、アカデミックカレンダーの最終授業／最終試験月を記入してください。ビザ証明書は取得学位を確認するための資料としているため、卒業予定年月の証明にはなりません。

Q 6 現在、海外短期大学に在籍中で、海外大学への編入学を予定しています。申込書の貸与終期欄は「海外大学」の卒業式の年月を記入するのですか。

A 6 当初の奨学金の貸与期間は、「海外短期大学」までとなります。申込書の貸与終期欄は、海外短期大学の最終授業／最終試験月を記入してください。

➤ 貸与奨学金案内 大学 30 ページ

Q 7 連帯保証人の父は、現在海外赴任しています。住所と電話番号は海外の住所を記入してもよいですか。

A 7 機構から海外に連絡を取ることとはしていないため、住民票を日本に残している場合は住民票住所を、海外に転出している場合は国内で連絡がつく住所を記入してください。また、電話番号は国内で連絡の取れる国内連絡者に選任した方の番号を記入してください。

(在籍証明書について)

Q 8 在籍証明書に学位の記載がない場合はどうすればよいですか。

A 8 成績証明書又は履修証明書に学位の記載がある場合は、それらの証明書を提出することで対応可能です。留学先の国によっては、ビザ証明書（留学生ビザを取得するために学校が発行する証明書）に学位が記載されている場合があります。

例) アメリカ : I-20

イギリス : CAS Statement

オーストラリア : Confirmation of Enrolment (CoE)

韓 国 : Certificate of Admission (標準入学許可証)

➤ 貸与奨学金案内 大学 38 ページ・大学院 37 ページ

Q 9 在籍証明書の発行を大学に依頼したところ、ビザ証明書 (I-20、CAS Statement、CoE 等) を提出すればよいと言われました。代替書類として認められますか。

A 9 ビザ証明書は在籍証明書の代替書類とは認められません。ビザの更新で入学年月日以降に取得した場合も同様です。必ず学校のレターヘッドのある公式の在籍証明書を提出してください。

### 【奨学金制度】

Q 10 保証制度は「機関保証制度」と「人的保証制度」のいずれかを選択できますか。

A 10 第二種奨学金（海外）の貸与を受けるには「機関保証制度」に加え、「人的保証制度」への加入が必要です。いずれかの制度を選択することはできません。

➤ 貸与奨学金案内 大学 9 ページ・大学院 9 ページ

Q11 保証人を選任できない場合でも申込みは可能ですか。

A11 第二種奨学金（海外）は、人的保証制度と機関保証制度への両方の加入が必要であるため、保証人を選任できない場合は、本奨学金を申し込むことはできません。

➤ 貸与奨学金案内 大学9ページ・大学院9ページ

Q12 保証人に祖父母を選任できますか。

A12 祖父母を保証人を選任することは可能ですが、祖父母が65歳以上の場合は、採用後、返還誓約書提出時に、本人の署名及び連帯保証人が署名・押印した「保証人の選任に係る事情書」の提出が必要です。

➤ 貸与奨学金案内 大学10ページ・大学院10ページ

Q13 海外口座への奨学金の振込は可能ですか。

A13 できません。奨学金の振込先は奨学生本人名義の日本国内の口座に限ります。

➤ 貸与奨学金案内 大学8ページ・大学院8ページ

Q14 ファンデーションコースから申込みは可能ですか。

A14 留学生に対して、ファンデーションコースの修了が義務付けられている国（イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、マルタ等）に留学する場合に限り、申込可能です。

➤ 貸与奨学金案内 大学4ページ

Q15 語学コース(ESL等)や予備コース、大学附属の語学学校は奨学金貸与の対象になりますか。

A15 対象外です。

なお、語学コースに在籍しながら正規課程の授業を受講している場合は、正規課程入学として奨学生に採用できる場合があります。ただし、正規課程の最短修業年限を超えて貸与することはできません。

➤ 貸与奨学金案内 大学4ページ

Q16 生計維持者（父母）が海外居住の場合、国内連絡者の選任はどうすればよいですか。

A16 国内在住の確実に連絡の取れる人（保証人等）を選任してください。申込時及び貸与中の奨学金の手続きは、全て国内連絡者を通じて行います。

Q17 奨学金の初回の振込はいつですか。

A17 不備なく審査が完了し、採用となった場合、申込月の2か月後に初回奨学金が振り込まれる予定です。

➤ 貸与奨学金案内 大学25ページ・大学院25ページ

Q18 海外の大学に在籍中です。両親ともに無職で、社会人の兄に養われています。生計維持者は兄になりますか。

A18 原則、父母（2名）が生計維持者となります。生計維持者の考え方は貸与奨学金案内（大学）33ページ「6 生計維持者」をご確認ください。

Q19 不採用になるのはどのような場合ですか。

A19 不採用の主な理由として、機構が定める家計基準を満たしていないことや在籍中の課程が対象外（語学コース等）であること、申込みに必要な書類を提出できないことが挙げられます。

Q20 医学部（6年制）に在籍中です。大学と大学院のどちらで申し込めばよいですか。

A20 大学（学部）でお申し込みください。

Q21 ダブル・ディグリー・プログラム（ダブル・マスター・プログラム）で国内と海外の大学（大学院）に入学予定ですが、国内奨学金と海外奨学金のどちらに申し込めばよいですか。

A21 原則として国内奨学金と海外奨学金のどちらにも申し込めます。国内大学での在籍状況、国内大学での奨学金申込受付状況等により、どちらに申し込むかご検討ください。国内奨学金のほうが必要書類は少なく済みますが、申込期間は春及び秋と限られており、申込期限が大学（大学院）により異なるため、国内奨学金の申込みについては、国内在籍校にご確認ください。なお、条件によっては、国内奨学金と海外奨学金の両方を併用（同種の奨学金は不可）して貸与を受けることも可能です。